

環境対応型金融商品・サービスの提供による環境保全活動

2006年5月31日
株式会社 滋賀銀行
代表取締役専務 大道 良夫

滋賀県の経済環境

- (1) 滋賀県は環境保全のシンボル、琵琶湖をかかえている。
- (2) 琵琶湖は滋賀県民138万人はもちろん、京阪神1,400万人の貴重な水源。
- (3) 21世紀は「環境の世紀」
琵琶湖は過去から受け継いだものであると同時に、未来からの預かり物である。

< 滋賀県の特徴 >

人口増加率は全国第5位

2030年まで人口が増加されると言われている唯一の県
県内総生産に占める第2次産業の割合は46.7%と全国1位
県民1人当たりの使用電力量は全国第2位

県民所得は3,205千円で全国第4位

滋賀県の事業所におけるISO14001の登録率は全国1位



当行の行是(昭和41年)

「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」

自己研鑽に励み、お客様に対しては「知恵と親切」を以って
対応し、究極は社会に尽くす

- 近江商人の経営哲学・<三方よし>
「売り手よし 買い手よし 世間よし」
- 日本版CSRの源流・DNA 当行のCSRの原点
- Win - Win - Win

「クリーンバンクしがぎん」

経営に環境を取り込んだ「環境経営」を展開中

「クリーン」に込めた思い

省資源・省エネルギーの「エコオフィスづくり」
環境対応型金融商品・サービスの開発、提供による地域への
環境保全活動への働きかけ
倫理観の強い行員づくり
透明度の高い情報開示

心身共に「クリーンバンクしがぎん」の実現に向けて、全行あげて
取り組んでおります。

地球温暖化ガス(CO₂)削減

2000年度比較5.33%削減(平成18年3月)

- 新世紀第2次長期経営計画に「地球温暖化ガス(CO₂)排出量6%削減」を掲げ、地球環境保全に取り組み
(< 3ヵ年計画 > 平成16年4月～平成19年3月)

< 具体的な取り組み項目 >

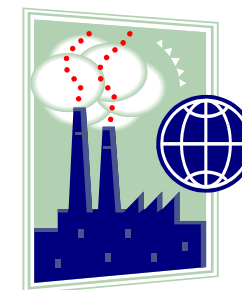
省エネ活動(電力使用量削減)

植樹活動

本業を通じたCO₂の削減

(「エコプラン」(環境対応車)の実行)

自社車両の環境対応車への切り替え



「しがぎん」エコプラス定期

お客さまとともに環境保全をサポート

- 定期をしながら環境サポート(平成15年4月取扱開始)
- 取り扱い開始からの累計 51万1千件 / 3,922億円

<商品内容>

お客様がダイレクトチャネル(ATM、テレホンバンキング、インターネットバンキング)を利用して定期預金をお預けいただけますと、1回のお預け入れごとに7円(<定期預金>申込用紙の紙資源消費削減分相当額)を当行が負担し、こうして貯まった資金を環境保全活動にお役立ていただく商品。

金利は「店頭表示金利 +0.03%」

<実績>

平成15年4月から平成17年10月までのお預け入れ分として、総額297万円を、琵琶湖とその流域の自然環境保全に取り組まれるNPOの活動にお役立ていただいております。

平成17年11月以降は、県内小学校の「学校ビオトープ」づくりの資金として拠出させていただきます。

「エコ＆耐震住宅ローン」

環境＋防災意識の共有化と促進

- **エコ関連住宅および耐震住宅に対して金利を優遇する住宅ローン**(平成17年8月取扱開始・実行件数915件)

滋賀県では琵琶湖西岸に断層帯が存在しており、耐震住宅建築の際の金利を優遇して耐震住宅を促進、地震被害からお客さまの生命・財産を守るためのお役に立ちたいと、同住宅ローンの取扱を開始。

< 金利優遇の対象となる住宅 >

ガス(都市ガス・LPガス)利用住宅(エコウィル等)
オール電化住宅
太陽光発電システム導入住宅
耐震住宅



< 「しがぎん」セレクトリフォームローン >

省エネ住宅・太陽光発電設置工事などのエコ関連住宅のリフォームローン

「しがぎん」エコ・クリーン資金

琵琶湖畔に本拠を置く銀行の使命として、環境保全に取り組みられる企業や事業主の皆さまに対して資金を低利でご融資(平成10年取扱開始)

実績： 実行累計630件 / 8,073百万円

ご利用目的に合わせてお客さまの多様な環境関連ニーズにお応えしています。

みずすましプラン(水質汚濁防止)

ISOプラン

省エネ・温暖化ガス削減プラン

リサイクルプラン

土壌汚染防止プラン



「しがぎん」琵琶湖原則

- Principles for Lake Biwa -

地球温暖化が原因と言われている異常気象を数多く目の当たりにする中、「**今ならまだ間に合う。**」との強い危機感を持って、当行から環境保全の取り組みを発信し、「持続可能な企業と地域社会」を実現するため、地域全体で「環境を主軸とするCSR経営」を推進していきたいとの願いを込めて制定。

< PLB三原則 >

環境配慮行動を組み込んだ生産・販売・サービス基準
環境配慮行動とビジネスチャンスの両立
環境リスクマネジメント情報の共有化

* この強い思いをPLBに託し、お取引先にその理解と協力を求め、地域全体に広めていくことを目的としたものです。

「しがぎん」琵琶湖原則

- P L B 格付 -

- 「P L B 格付」は「しがぎん」琵琶湖原則に賛同し、かつ「P L B 格付」を希望されるお客さまを対象に実施。

< 具体的項目 >

環境マネジメント

環境会計、環境ボランティア

環境負荷低減、環境汚染防止

事業活動における環境(CSR)配慮

コンプライアンス等

* 15項目について3段階で評価

* 評点に応じて5ランクに区分して、金利優遇を行います。

「しがぎん」琵琶湖原則支援資金

- (PLB資金) -

- PLBへの賛同 PLB格付 PLB資金
- 環境保全に役立つ製品・商品・サービスの開発・販売に必要な運転資金・設備資金をご融資。
- 「環境を主軸とするCSR(企業の社会的責任)」活動に対し、貸出金利を最大で0.5%優遇

<平成18年4月末実績>
平成17年12月取扱開始
実行件数 / 110件
実行金額 / 18億3百万円



環境を主軸とした 「CSRのしがぎん」をめざして

「環境」との「共存共栄」
「地域社会」との「共存共栄」
「未来」との「共存共栄」

- ・環境破壊を伴う、経済成長は持続出来ない。
- ・お客さまの環境配慮行動を金融面からバックアップし、「環境創造」に努めてまいります。

本日はありがとうございました。